

# 一二三年の勝利の条件

前期試験阻止、無期限スト、本館  
封鎖方針の正しさを確信せよ！

一九六八・九・二五

共学同教育大支部書記局

彼らの息の根を最終的に止めなければならぬ。我々の獲得目標は「調査と凍結」でなければならない。絶対に「MP委即時解散・土地確保撤回」でなければならぬ。

我々の獲得目標はMP委員会解散・土地確保撤回である。II 調査費凍結は事態を解決しない。

現在、ヨリ全学ストへの発展の軌運を更せるに当り、民青の諸君から、ヨリ争の焦虫を調査し凍結へヨリかえる策動が為されてゐる。彼らの分析では、調査ヒ凍結によつて、移転推進の財政的基盤が失われ、研學都市建設の進展と学内移転推進の廻に生じこじるアンバランスを大きく拡大することができる。II ヨリ争の有利な条件といつものだと、この分析は決定的に誤つてゐる。

現に、文部省への二八七〇万の要求額は、文部省から大蔵省への要求段階で大市にけむら以てゐると言われる（一説には、文部省より大蔵省への要求額は大約〇〇万程度といつてゐる）。更に、大蔵省の直定を至た時には、一五〇万程度、計上自体に意義があるのだ」と表明してゐる。

現に、文部省への二八七〇万の要求額は、文部省から大蔵省への要求段階で大市にけむら以てゐると言われる（一説には、文部省より大蔵省への要求

額は大約〇〇万程度といつてゐる）。更に、大蔵省の直定を至た時には、一五〇万程度、計上自体に意義があるものと思ひれる。（→ 財政更直化・官房面の予算争奪戦）

そもそも、調査ヒとMP委の最終案作成の活動資金であり、海外研究教育体制、現地の調査は既に現学都市建設の全体計画の中で見ろしこりるのであるから、MP最終案作成の活動資金は百万単位の額で充分可能なだ。ところが、現在の大学の打遣を、更には、財政权は実質的に事ム局長の手に掌握され、おり、事ム局長の頭一つ一千万や二千五の金は、どうにともひるのであるから、調査ヒ凍結はMP委の活動を停止させる如何なる武器にもなり皮しむ。已とすれば、結核は簡単である。MP委解散のみが移転推進の中核MP委の活動を完全に停止させることができる。

同時に、この面派生してあらゆる問題な、昨年大目の「土地確保」決定に起因してゐる現状を考えるならば、「土地確保」決定の有効性を存疑させることによって、推進派に巻き返し、余地を残すことなく、「土地確保」の撤回を獲得することによって、

勝利の条件II 我々の方針の正しさを確認する為了に、調査ヒ計上は決して金額の問題ではない。教授会・評議会MPの解散、土地確保撤回を決議する場合、打撃に、对文部省との力闘争の中で、大蔵政策自体を全面的に粉碎し、よつて城郭移転粉碎を勝ち取る場合。

前者には、いくつの場合が想定できる。

一般教育の一元的発想の運用。

ヨリヨリの推進派を除く一般教育においては、彼らの城郭移転への賛否、教授会自治への執着と、争議収拾の苟の执筆とは、斗争の激化に伴つて分裂し二元化する。彼らの日常性への回帰の要求と、大量留年、新入生募集不能、懲への社会逼迫的危機が高まれば高まる程、争議収拾的発想は彼ら自身の城郭への賛否、教授会自治への執着を隠に押しやり、争議収拾的発想に基づくMP解散、土地確保撤回決議を余儀なくさせる。

勿論、この為には大學の存在自体をおびやかす事が長期に亘るストライキ、教育の完全化學園からの撤退の結果、教授会自治の限界と歴史とが余りにも明確に露呈されるという客觀的状況が創り出されると、反対派教育の覺醒と推進

日の「土地確保」決定に起因してゐる現状を考えるならば、「土地確保」決定の有効性を存疑させることによって、推進派に巻き返し、余地を残すことなく、「土地確保」の撤回を獲得することによって、

長期に亘る文理教授会の对立を軸とした教職界の結果、教授会自治の限界と歴史とが余りにも明確に露呈されるという客觀的状況が創り出されると、

及ぶる状況下にあって、教授の座に安住の地位を見出

すことによつて、ひたすら学生と敵対し、教授会内反対派にとどまつてゐた反対派教授が教授会と決別し、既成の構造に反旗をひくおえず条件は成熟してしまつた。

勿論、お話し合いによつてはこの可能性は復興へもむき。彼らは安住の地位を獲得してゐる限りにおいて徹底して日和見主義者たるだら。だが、もしも我々が彼らの安住の地位を追奪し、日和見主義者としてこの物的基盤を奪い去るならば、彼らは推進派全面包围に対する推進派との力関係の逆转の急先鋒たる立場性は充分にある。

この点の条件が一の条件と希びつくならば、我々の斗争の可能性は極めて大になる。

## 若狭商の動搖→上戸部

### 事務官僚への影響

試験停止・無期限ストが長期にわたつて持続されかねばならぬ、大量留年・就職不能事態は必至である。だが、このことを免手をこざるのは我々学生だけではなし。若狭商が各企業・各学校でやつと確保した教育大割り当この求めに専念するからである。そこには、それは尊商面の対立の激しい状況下にあつては、来年度以降の割り当この数の減少入とはねぬぞりのをえまい。まさしく、各企業・学校内にかかる若狭商の地位基盤の动摇へと漏れせざるをえない。

このような状態になつたならば、彼らは、若狭商の染みこ上了た力と、就波移転の二者択一を迫らんとする。自分たちの物的利害に基づをおく彼らが尊商体系の保持を選択することは当然であるし、それは彼らと密接した上戸部・事務官僚の抱き込み、しかもけとして結果せざるをえまい。

## 労働力商品の定期的生産体制に大打撃を！

後者の場合に上戸部はもつとスッキリしきり。全日本五〇数大学での学園斗争の激化、日大・東大等における長期ストの存在によつて、教育大の斗争が一校規模の限界を突破し、日大・東大等との連携を軸に、斗争の鋒先を对文部省へと向ける現実的条件が成熟しつつある。複数の大学で、大量留年・新入生募集不振事態を創り出すことに成功するならば、文部省の労働力商品の定期的生産計画・体制に大打撃を与える。大學生倫政策を全面的に粉砕していく中で就波移転粉碎を勝ち取ることも不可能でない。

専門共斗のこれが一步であり、万衆の学友による文部省包囲戦モダニ、勝利に向けてこの新たにステップを走るであろう。

## 勝利の後にくるもの||破壊の中に変革と創造の武器を生産せよ||

以上、争の勝利の可能性と条件について書いたが、これはあくまでも、技術の問題として、あるいは有効性の問題として分析させていくことを離れておいて欲しい。

同時に、これらの勝利の条件と可能性との便宜的に四項目にわけて記さぬこいるが復興の政治過程の中では、それとも復讐に希み合つて提出されるものであることを理解しておいて欲しい。

確かに、我々の斗争は最終的にはプロレタリアー

トの本隊と合流し、体制の打破により達成する限りのないまだ未成歩の復興階層にあつて、我々の斗争は徹底して敵の弱み、矛盾につづりこみ、革命の陣地を市民社会の内部に向け打築することにあらう。

我々は革命的敗北主義の立場をとらす。ヒロイズムによっては歴史の歴史の歴史を我々の手に掌握することできむのだから。

最後に、もう一つ極めて重大な点に触れておこう。

それと、就波移転を阻止することによつて、我々の斗争は完全にしむかることである。例え、就波移

転を阻止したとしても、それがそつかりに文部省のイニシアチブの発展した現在の大学の有様を意味するならば、我々の斗争の価値は無に帰するであろう。

我々が、今から斗争の内に変革と創造の武器を準備しなければならない。だが、それも決して「決定権への参加による学生自治権の確立」というよりむしろ、我々の参画による学生自治権であつたのではなく何の意味もない。我々が創り出すものは、既存の研究教育活動をその体系と方法論・組織論にわたつて全面的に破壊し、新しい秩序を建設する大事業を担はうる主体であり、学生を主力とし、院生・助手等を包摵して現日の大学の島の能動的アロックでなければならぬ。自主講座とは、この歴史的大事業の一環として把えられなければならない。